

**令和3年度**

**第6回市政モニターアンケート**

**暴力追放運動について**

北九州市広報室広聴課

## 目 次

I 調査の概要	1
II 市政モニターの構成	1
III 調査結果	2
(1) 市の相談窓口の認知度	2
(2) 市の暴力追放に向けた取組の認知度	3
(3) 活動内容の認知度	4
(4) 暴力団等から不当な要求を受けた経験の有無	5
(5) 不当な要求を受けた場合の対応	6
(6) 不当な要求に応じる理由	7
(6) 不当な要求を受けた場合誰（どこ）に相談するか	8
(7) 暴力追放の住民運動への協力意向	9
(8) 暴力追放の住民運動に協力したくない理由	10
(9) 暴力団を利用してのもめごと処理についての考え	11
(10) 暴力団の利用を「やむを得ない」「悪くはない」と思う理由	12
(11) 暴力団はどのようにして存在すると思うか	13
(12) 北九州のイメージについて	14
(13) 北九州市の暴力追放運動の取組について	15
(14) 暴力追放についての意見	16
IV 全体考察	22

## I 調査の概要

調査対象者	市政モニター	150人
回答者数	132人	(回収率88.0%)
調査実施日	令和3年9月17日～令和3年10月1日	
実施方法	調査票による郵送及びインターネット調査	
調査実施課	広報室広聴課	TEL 582-2527
調査依頼課	市民文化スポーツ局安全・安心推進課	TEL 582-2427

## II 市政モニターの構成

R3.5.1

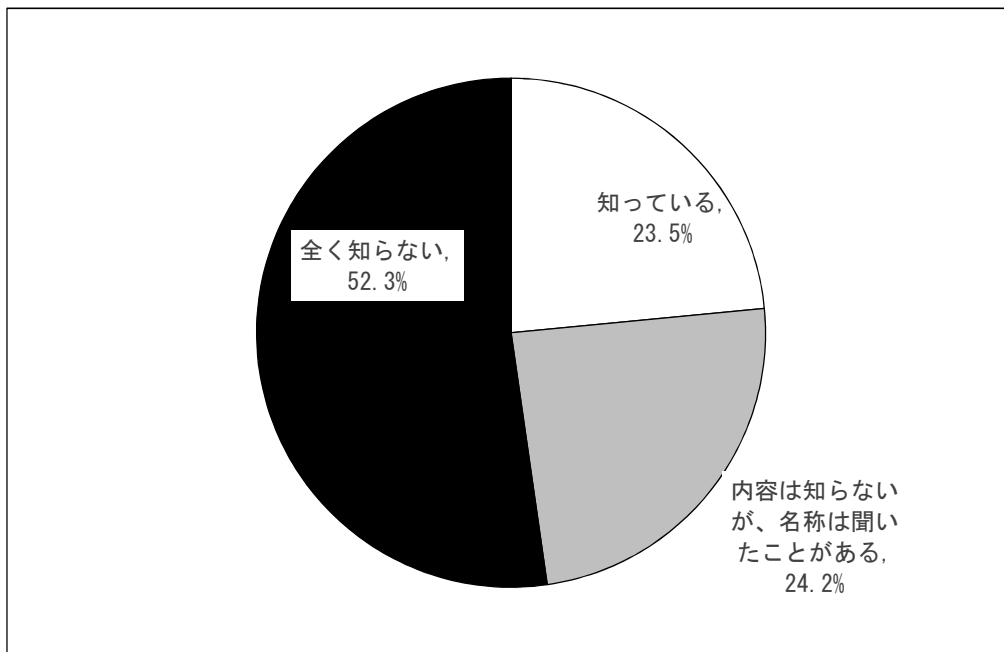
区分	合計	男性	女性	区分	合計	男性	女性
全体	150 (100.0%)	68 (45.3%)	82 (54.7%)	区 別			
10歳代	1 (0.7%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	門司区	15 (10.0%)	6 (4.0%)	9 (6.0%)
20歳代	21 (14.0%)	6 (4.0%)	15 (10.0%)	小倉北区	27 (18.0%)	11 (7.3%)	16 (10.7%)
30歳代	21 (14.0%)	10 (6.7%)	11 (7.3%)	小倉南区	31 (20.7%)	13 (8.7%)	18 (12.0%)
40歳代	24 (16.0%)	11 (7.3%)	13 (8.7%)	若松区	15 (10.0%)	7 (4.7%)	8 (5.3%)
50歳代	23 (15.3%)	10 (6.7%)	13 (8.7%)	八幡東区	12 (8.0%)	5 (3.3%)	7 (4.7%)
60歳代	22 (14.7%)	11 (7.3%)	11 (7.3%)	八幡西区	38 (25.3%)	20 (13.3%)	18 (12.0%)
70歳以上	38 (25.3%)	19 (12.7%)	19 (12.7%)	戸畑区	12 (8.0%)	6 (4.0%)	6 (4.0%)

※モニター総数150名のうち郵送モニター22名、ネットモニター128名

※数値の単位未満は四捨五入を原則としましたので、総数と内容の合計は、一致しない場合があります。

### III 調査結果

問1 市役所内に民事介入暴力の被害相談窓口が設置されていることを知っていますか。

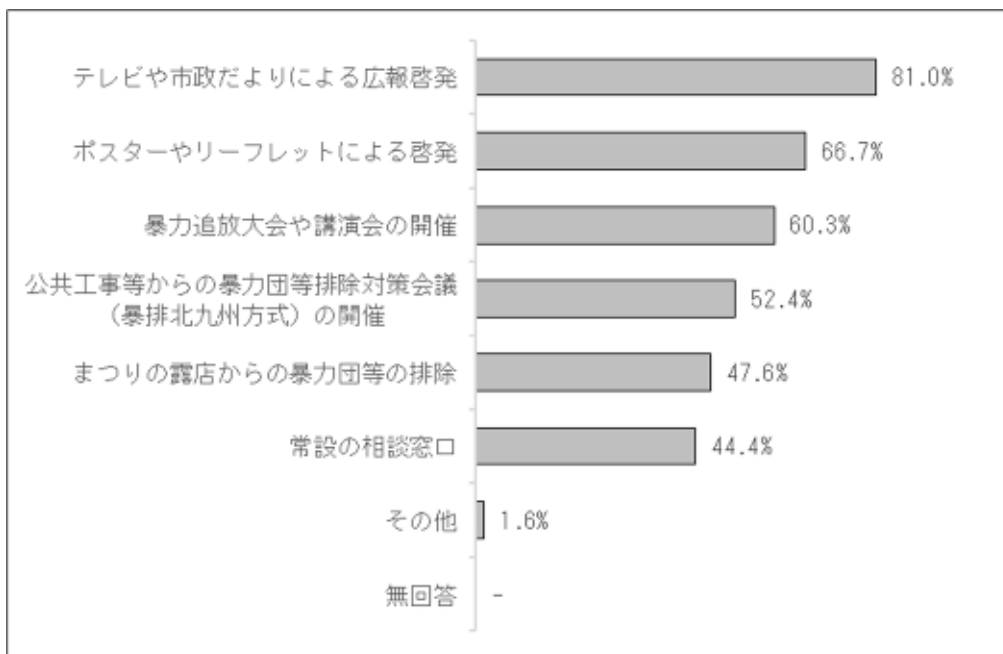


		回答者数	知っている	内容は知らないが、名称は聞いたことがある	全く知らない	無回答
全体		132	23.5%	24.2%	52.3%	-
性別	男性	61	37.7%	23.0%	39.3%	-
	女性	71	11.3%	25.4%	63.4%	-
年齢別	10歳代	0	-	-	-	-
	20歳代	16	12.5%	6.3%	81.3%	-
	30歳代	16	25.0%	12.5%	62.5%	-
	40歳代	22	18.2%	27.3%	54.5%	-
	50歳代	19	21.1%	26.3%	52.6%	-
	60歳代	21	23.8%	28.6%	47.6%	-
	70歳以上	38	31.6%	31.6%	36.8%	-
区別	門司区	14	21.4%	28.6%	50.0%	-
	小倉北区	24	33.3%	12.5%	54.2%	-
	小倉南区	27	22.2%	18.5%	59.3%	-
	若松区	14	21.4%	42.9%	35.7%	-
	八幡東区	9	11.1%	55.6%	33.3%	-
	八幡西区	33	24.2%	18.2%	57.6%	-
	戸畑区	11	18.2%	27.3%	54.5%	-

「知っている」「内容は知らないが、名称は聞いたことがある」の合計は47.7%だった。「全く知らない」が52.3%で、年代別では20～30歳代が60%以上と認知度が低かった。

問2 <問1で「1」、「2」いずれかを答えた方におたずねします。>

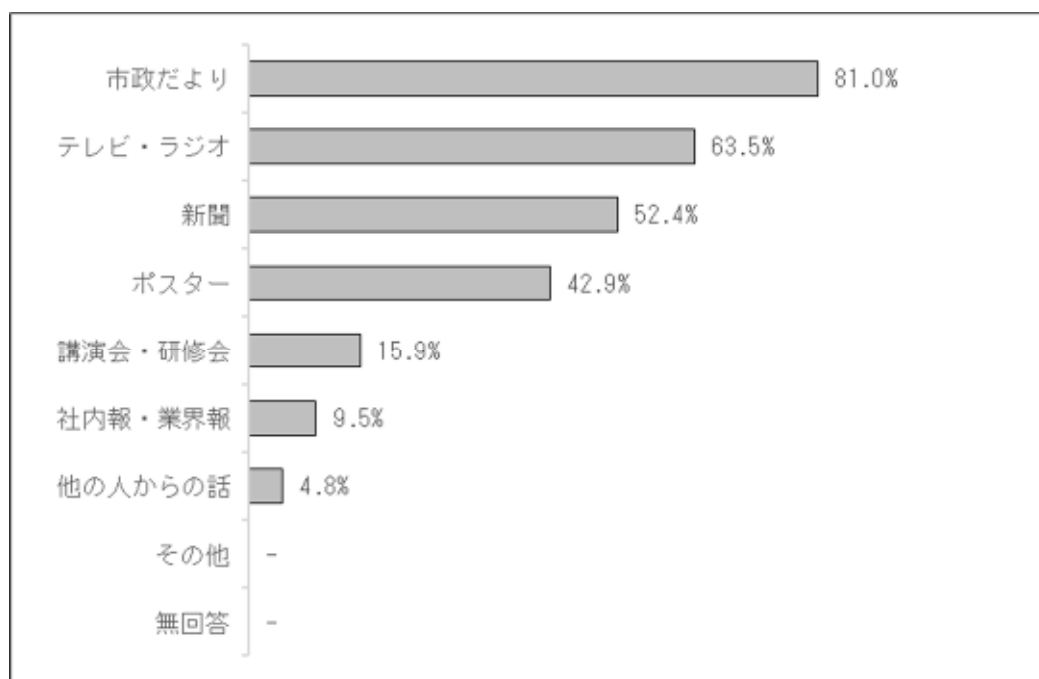
2-1 市の暴力追放に向けた取り組みの中で、知っているものをいくつでも選んでください。



	回答者数	テレビや市政だよりによる広報啓発	ポスターやリーフレットによる啓発	暴力追放大会や講演会の開催	公共工事等からの暴力団等排除対策会議（暴排北九州方式）の開催	まつりの露店からの暴力団等の排除	常設の相談窓口	その他	無回答	
全体	63人	81.0%	66.7%	60.3%	52.4%	47.6%	44.4%	1.6%	-	
性別	男性	37人	78.4%	73.0%	75.7%	67.6%	59.5%	54.1%	-	-
	女性	26人	84.6%	57.7%	38.5%	30.8%	30.8%	30.8%	3.8%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	3人	66.7%	66.7%	-	-	-	33.3%	-	-
	30歳代	6人	83.3%	83.3%	33.3%	83.3%	50.0%	83.3%	-	-
	40歳代	10人	80.0%	90.0%	50.0%	50.0%	40.0%	30.0%	-	-
	50歳代	9人	77.8%	77.8%	66.7%	66.7%	66.7%	44.4%	-	-
	60歳代	11人	72.7%	63.6%	63.6%	54.5%	63.6%	45.5%	-	-
	70歳以上	24人	87.5%	50.0%	75.0%	45.8%	41.7%	41.7%	4.2%	-
区別	門司区	7人	71.4%	100.0%	85.7%	85.7%	57.1%	71.4%	-	-
	小倉北区	11人	81.8%	72.7%	54.5%	63.6%	27.3%	54.5%	9.1%	-
	小倉南区	11人	90.9%	81.8%	45.5%	36.4%	36.4%	54.5%	-	-
	若松区	9人	44.4%	77.8%	66.7%	44.4%	44.4%	44.4%	-	-
	八幡東区	6人	100.0%	66.7%	50.0%	33.3%	83.3%	33.3%	-	-
	八幡西区	14人	92.9%	21.4%	57.1%	57.1%	50.0%	21.4%	-	-
	戸畑区	5人	80.0%	80.0%	80.0%	40.0%	60.0%	40.0%	-	-

1位は前回2位の「テレビや市政だよりによる広報啓発」が81.0%で、前回1位の、「ポスターやリーフレットによる啓発」が減少し2位となった。

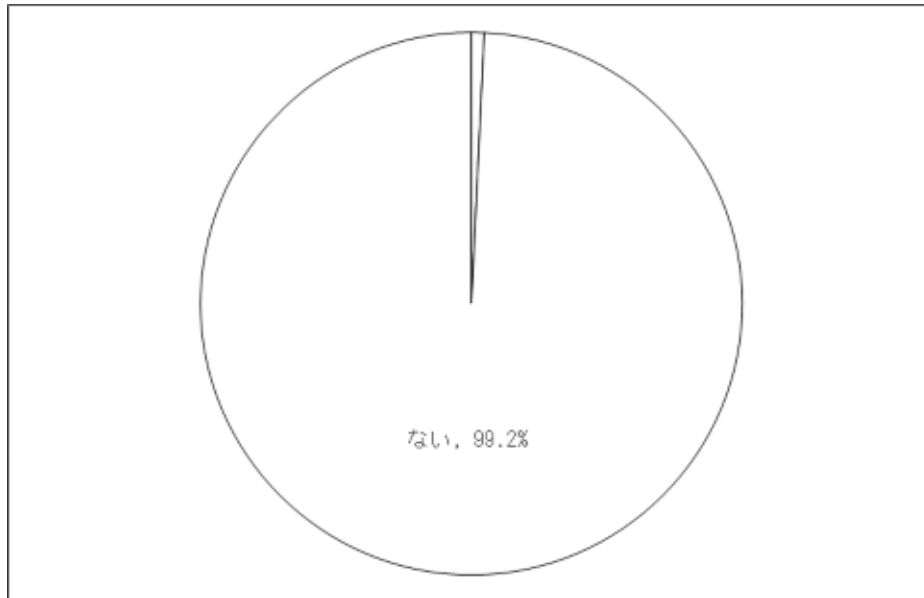
2-2 あなたは、その活動を何によって知りましたか。次の中からいくつでも選んでください。



	回答者数	市政だより	テレビ・ラジオ	新聞	ポスター	講演会・研修会	社内報・業界報	他の人からの話	その他	無回答
全体	63人	81.0%	63.5%	52.4%	42.9%	15.9%	9.5%	4.8%	-	-
性別	男性	37人	81.1%	70.3%	67.6%	48.6%	16.2%	5.4%	5.4%	-
	女性	26人	80.8%	53.8%	30.8%	34.6%	15.4%	15.4%	3.8%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	3人	33.3%	33.3%	-	100.0%	-	-	-	-
	30歳代	6人	66.7%	83.3%	33.3%	83.3%	-	16.7%	-	-
	40歳代	10人	80.0%	50.0%	40.0%	20.0%	-	20.0%	-	-
	50歳代	9人	55.6%	77.8%	44.4%	44.4%	22.2%	-	11.1%	-
	60歳代	11人	100.0%	63.6%	63.6%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%	-
	70歳以上	24人	91.7%	62.5%	66.7%	37.5%	29.2%	8.3%	-	-
区別	門司区	7人	42.9%	71.4%	57.1%	71.4%	14.3%	14.3%	14.3%	-
	小倉北区	11人	72.7%	72.7%	63.6%	36.4%	27.3%	18.2%	18.2%	-
	小倉南区	11人	81.8%	45.5%	36.4%	54.5%	-	9.1%	-	-
	若松区	9人	88.9%	55.6%	44.4%	55.6%	11.1%	22.2%	-	-
	八幡東区	6人	100.0%	83.3%	33.3%	33.3%	33.3%	-	-	-
	八幡西区	14人	92.9%	71.4%	64.3%	14.3%	21.4%	-	-	-
	戸畑区	5人	80.0%	40.0%	60.0%	60.0%	-	-	-	-

「市政だより」と回答した人が1位で81.0%、続いて2位が「テレビ・ラジオ」の63.5%、「新聞」が3位で52.4%と前回調査と同じ順位だった。

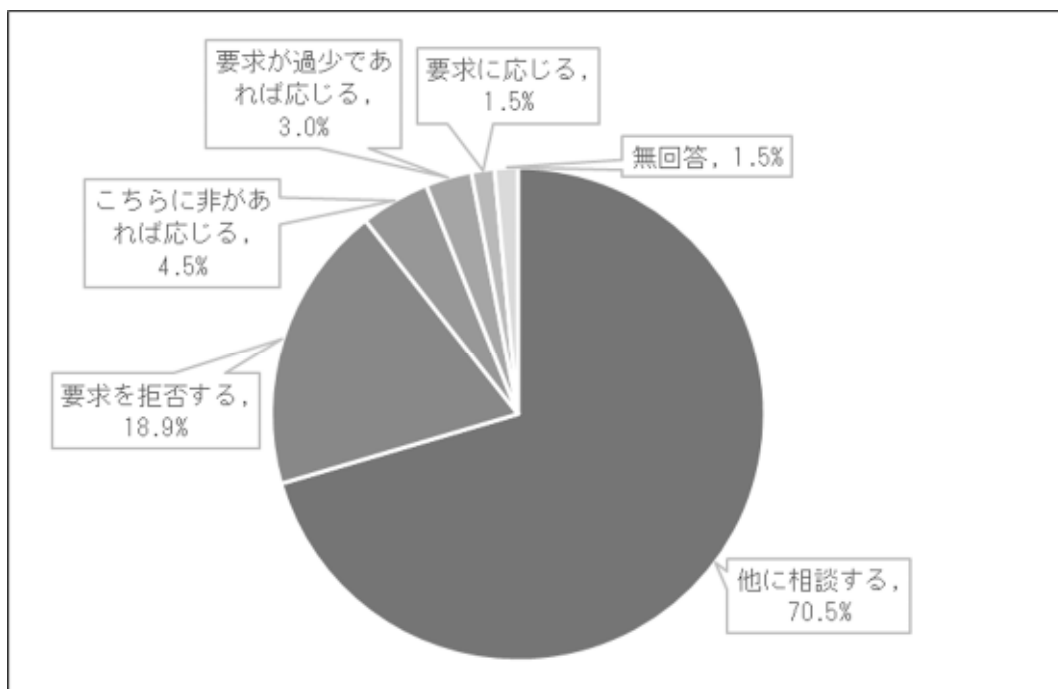
問3 あなた自身やあなたの家族・会社が、過去2年間に北九州市内において暴力団から「ゆすり」「たかり」など、不当な要求を受けたことがありますか。また、受けたことがある方は、いつ頃ですか。



		回答者数	ある	ない	無回答
全体		132人	0.8%	99.2%	-
性別	男性	61人	1.6%	98.4%	-
	女性	71人	-	100.0%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-
	20歳代	16人	-	100.0%	-
	30歳代	16人	6.3%	93.8%	-
	40歳代	22人	-	100.0%	-
	50歳代	19人	-	100.0%	-
	60歳代	21人	-	100.0%	-
	70歳以上	38人	-	100.0%	-
区別	門司区	14人	-	100.0%	-
	小倉北区	24人	-	100.0%	-
	小倉南区	27人	-	100.0%	-
	若松区	14人	-	100.0%	-
	八幡東区	9人	-	100.0%	-
	八幡西区	33人	3.0%	97.0%	-
	戸畑区	11人	-	100.0%	-

「ある」と回答した者は1人であった。

問4 あなたは暴力団などから不当な要求があった場合、どのように対応しますか。  
1つだけ選んでください。



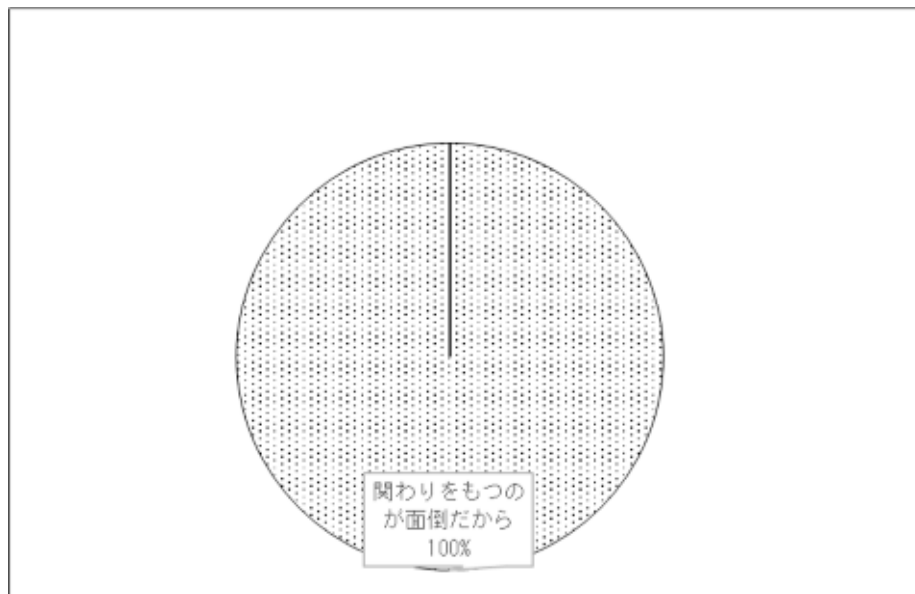
	回答者数	他に相談する	要求を拒否する	こちらに非があれば応じる	要求が過少であれば応じる	要求に応じる	その他	無回答	
全体	132人	70.5%	18.9%	4.5%	3.0%	1.5%	-	1.5%	
性別	男性	61人	52.5%	32.8%	6.6%	1.6%	3.3%	-	3.3%
	女性	71人	85.9%	7.0%	2.8%	4.2%	-	-	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	16人	68.8%	6.3%	12.5%	-	6.3%	-	6.3%
	30歳代	16人	75.0%	12.5%	-	6.3%	-	-	6.3%
	40歳代	22人	72.7%	27.3%	-	-	-	-	-
	50歳代	19人	68.4%	21.1%	10.5%	-	-	-	-
	60歳代	21人	76.2%	14.3%	-	4.8%	4.8%	-	-
	70歳以上	38人	34.2%	18.4%	10.5%	-	2.6%	-	-
区別	門司区	14人	71.4%	28.6%	-	-	-	-	-
	小倉北区	24人	91.7%	4.2%	-	4.2%	-	-	-
	小倉南区	27人	70.4%	18.5%	7.4%	-	3.7%	-	-
	若松区	14人	78.6%	14.3%	7.1%	-	-	-	-
	八幡東区	9人	88.9%	-	11.1%	-	-	-	-
	八幡西区	33人	54.5%	27.3%	6.1%	3.0%	3.0%	-	6.1%
戸畑区	11人	45.5%	36.4%	-	18.2%	-	-	-	

1位の「他に相談する」が70.5%で、2位の「要求を拒否する」が18.9%だった。「こちらに非があれば応じる」が4.5%だった。



〈問5は、問4で「1 要求に応じる」と答えた方におたずねします〉

問5 要求に応じるのは何故ですか。1つだけ選んでください。

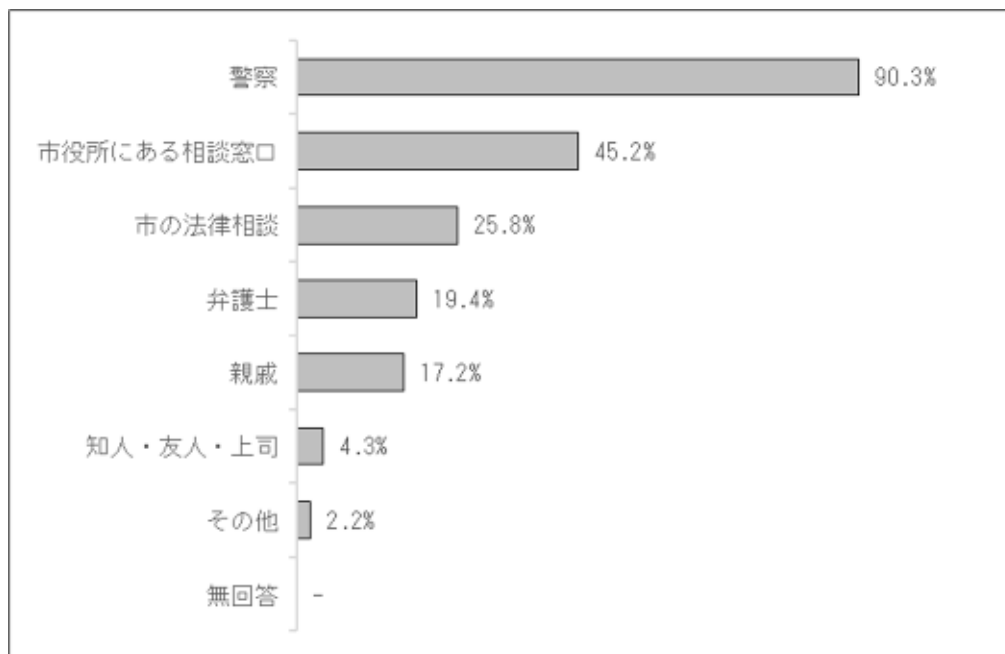


	回答者数	怖いから	関わりをもつのが面倒だから	相談するところがないから	前にも応じて、断るのが困難	対応に不慣れだから	その他
全体	2人	-	100.0%	-	-	-	-
性別	男性	2人	100.0%	-	-	-	-
	女性	-	-	-	-	-	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	1人	100.0%	-	-	-	-
	30歳代	-	-	-	-	-	-
	40歳代	-	-	-	-	-	-
	50歳代	-	-	-	-	-	-
	60歳代	1人	-	100.0%	-	-	-
	70歳以上	-	-	-	-	-	-
区別	門司区	-	-	-	-	-	-
	小倉北区	-	-	-	-	-	-
	小倉南区	1人	-	100.0%	-	-	-
	若松区	-	-	-	-	-	-
	八幡東区	-	-	-	-	-	-
	八幡西区	1人	-	100.0%	-	-	-
	戸畑区	-	-	-	-	-	-

「要求に応じる」と回答した理由は、「かかわりを持つのが面倒だから」だった。

〈問6は、問4で「5他に相談する」と答えた方におたずねします〉

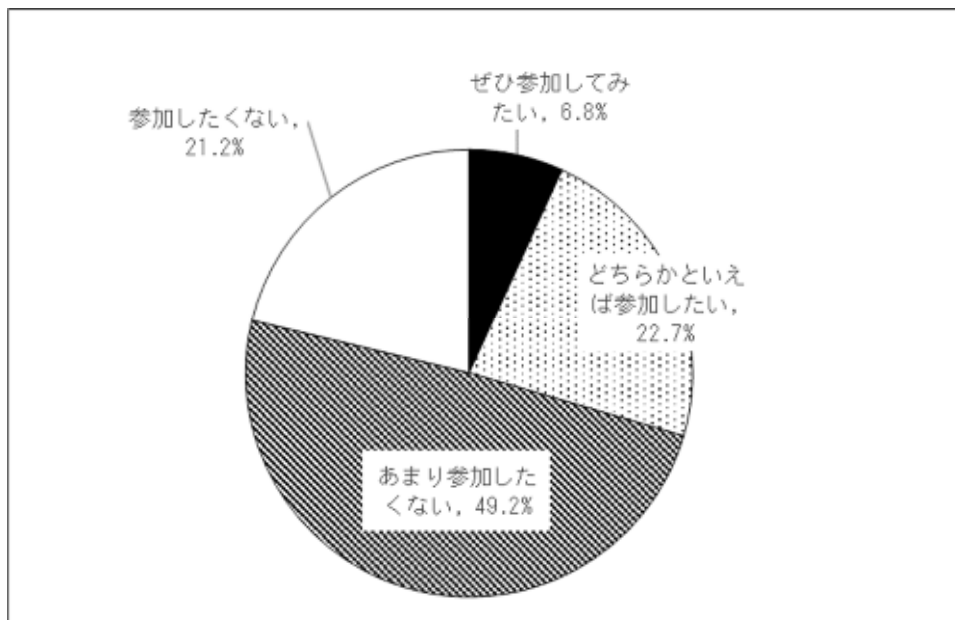
問6 そのことを誰（どこ）に相談しますか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	警察	市役所にある相談窓口	市の法律相談	弁護士	親戚	知人・友人・上司	その他	無回答
全体		93人	90.3%	45.2%	25.8%	19.4%	17.2%	4.3%	2.2%	-
性別	男性	32人	84.4%	46.9%	21.9%	31.3%	9.4%	6.3%	-	-
	女性	61人	93.4%	44.3%	27.9%	13.1%	21.3%	3.3%	3.3%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	11人	90.9%	27.3%	9.1%	9.1%	18.2%	-	-	-
	30歳代	12人	83.3%	41.7%	16.7%	16.7%	8.3%	-	-	-
	40歳代	16人	93.8%	31.3%	31.3%	37.5%	12.5%	-	6.3%	-
	50歳代	13人	84.6%	69.2%	38.5%	7.7%	7.7%	-	-	-
	60歳代	16人	100.0%	43.8%	18.8%	12.5%	18.8%	6.3%	-	-
	70歳以上	25人	88.0%	52.0%	32.0%	24.0%	28.0%	12.0%	4.0%	-
区別	門司区	10人	100.0%	40.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%	-	-
	小倉北区	22人	81.8%	31.8%	31.8%	13.6%	9.1%	9.1%	-	-
	小倉南区	19人	100.0%	57.9%	31.6%	10.5%	36.8%	-	10.5%	-
	若松区	11人	81.8%	36.4%	27.3%	9.1%	18.2%	-	-	-
	八幡東区	8人	87.5%	62.5%	50.0%	50.0%	-	12.5%	-	-
	八幡西区	18人	94.4%	50.0%	11.1%	22.2%	11.1%	-	-	-
	戸畑区	5人	80.0%	40.0%	20.0%	-	20.0%	-	-	-

「警察」と答えた人が90.3%で前回調査と同じ1位。「市役所にある相談窓口」も45.2%と前回同様の2位であった。

問7 現在、県警察や市などの主催により、市内各地で暴力追放大会や暴追パレードが開催されていますが、あなたは参加する時間があるとした場合に、このような活動に参加することについてどのようにお考えですか。

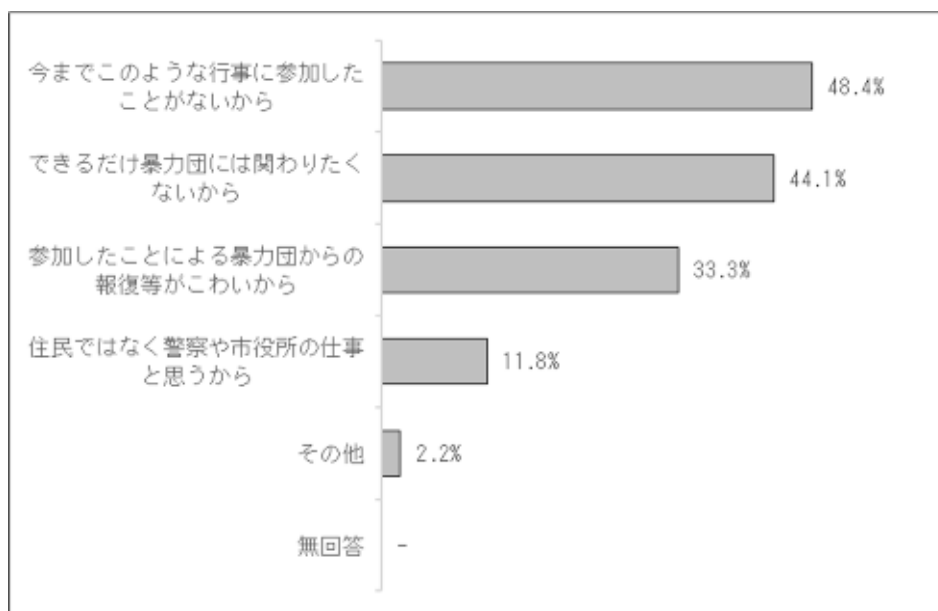


	回答者数	ぜひ参加してみたい	どちらかといえば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答	
全体	132人	6.8%	22.7%	49.2%	21.2%	-	
性別	男性	61人	13.1%	29.5%	34.4%	23.0%	-
	女性	71人	1.4%	16.9%	62.0%	19.7%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	
	20歳代	16人	-	12.5%	56.3%	31.3%	-
	30歳代	16人	12.5%	31.3%	37.5%	18.8%	-
	40歳代	22人	-	18.2%	40.9%	40.9%	-
	50歳代	19人	15.8%	21.1%	42.1%	21.1%	-
	60歳代	21人	9.5%	14.3%	61.9%	14.3%	-
	70歳以上	38人	5.3%	31.6%	52.6%	10.5%	-
区別	門司区	14人	14.3%	7.1%	64.3%	14.3%	-
	小倉北区	24人	-	29.2%	54.2%	16.7%	-
	小倉南区	27人	11.1%	18.5%	48.1%	22.2%	-
	若松区	14人	-	35.7%	42.9%	21.4%	-
	八幡東区	9人	-	22.2%	66.7%	11.1%	-
	八幡西区	33人	12.1%	18.2%	36.4%	33.3%	-
	戸畑区	11人	-	36.4%	54.5%	9.1%	-

「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が 29.5%と前回調査 21.1%と比べてわずかに上昇していた。

<問8は、問7で「3 あまり参加したくない」又は「4 参加したくない」と答えた方におたずねします>

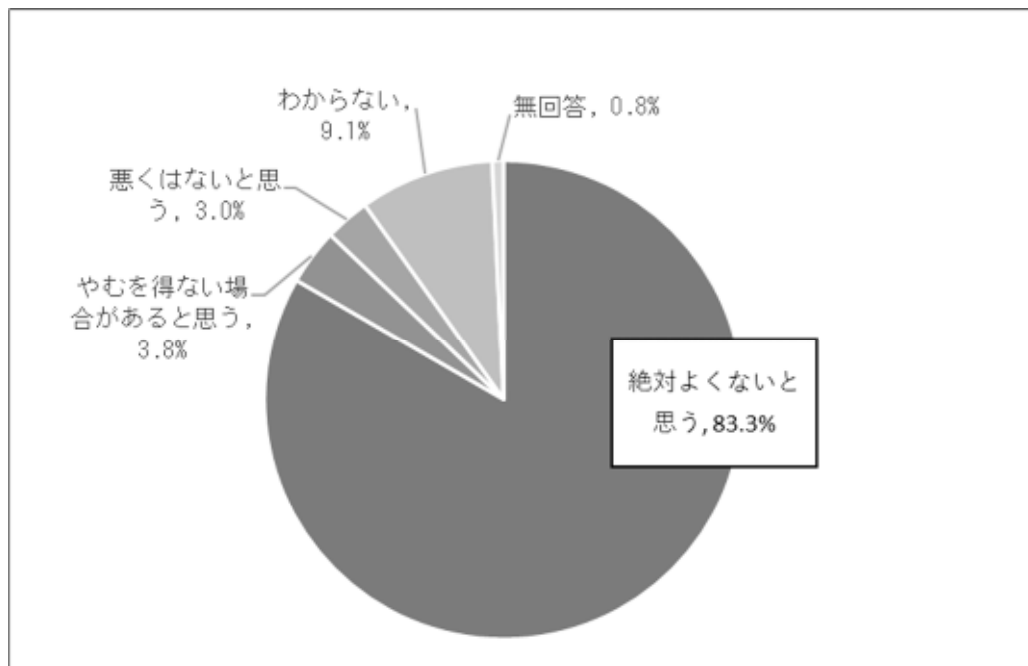
問8 その理由は何ですか。次の中からいくつでも選んでください。



		回答者数	今までこのような行事に参加したことがないから	できるだけ暴力団には関わりたくないから	参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから	住民ではなく警察や市役所の仕事と思うから	その他	無回答
全体		93人	48.4%	44.1%	33.3%	11.8%	2.2%	-
性別	男性	35人	40.0%	40.0%	34.3%	20.0%	2.9%	-
	女性	58人	53.4%	46.6%	32.8%	6.9%	1.7%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	14人	50.0%	42.9%	42.9%	-	-	-
	30歳代	9人	22.2%	55.6%	55.6%	11.1%	-	-
	40歳代	18人	38.9%	38.9%	27.8%	27.8%	-	-
	50歳代	12人	41.7%	25.0%	66.7%	8.3%	-	-
	60歳代	16人	62.5%	37.5%	6.3%	18.8%	-	-
	70歳以上	24人	58.3%	58.3%	25.0%	4.2%	8.3%	-
区別	門司区	11人	36.4%	54.5%	36.4%	9.1%	18.2%	-
	小倉北区	17人	29.4%	41.2%	17.6%	17.6%	-	-
	小倉南区	19人	68.4%	52.6%	31.6%	10.5%	-	-
	若松区	9人	44.4%	22.2%	33.3%	11.1%	-	-
	八幡東区	7人	57.1%	42.9%	14.3%	-	-	-
	八幡西区	23人	56.5%	43.5%	43.5%	17.4%	-	-
	戸畑区	7人	28.6%	42.9%	57.1%	-	-	-

「今までこのような行事に参加したことがないから」が48.4%と一番多く、次いで「できるだけ暴力団には関わりたくないから」が44.1%で、「参加したことによる暴力団からの報復等がこわいから」が33.3%だった。

問9 暴力団などを利用して、もめごとの処理を行う人がいますが、あなたはこのようなことについてどう考えますか。1つだけ選んでください。

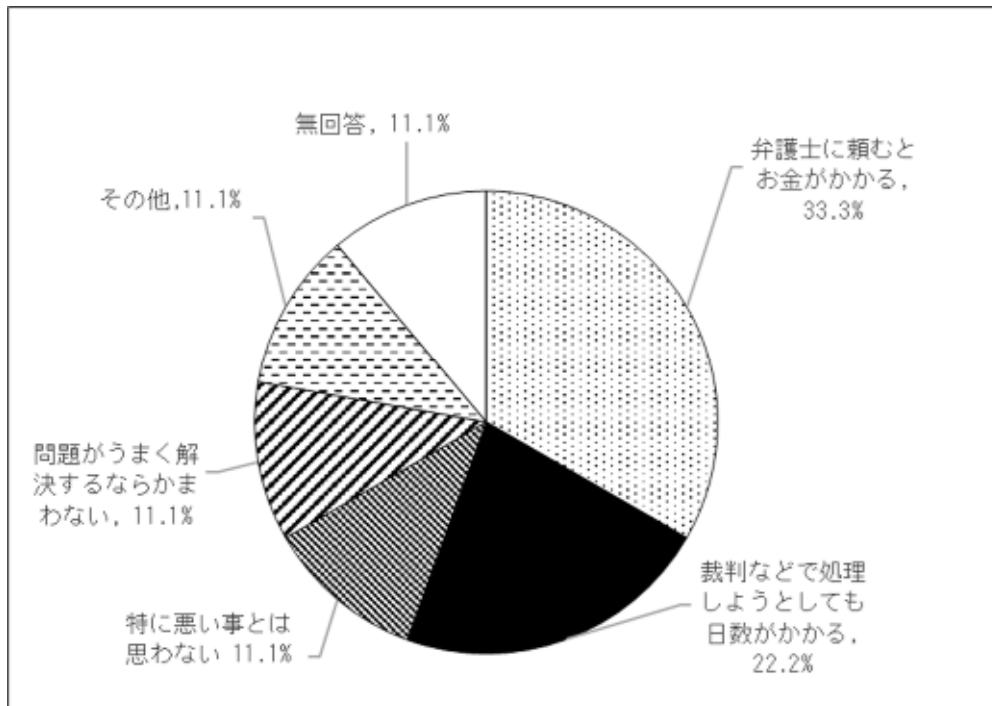


		回答者数	絶対よくないと思う	やむを得ない場合があると思う	悪くはないと思う	わからない	無回答
全体		132人	83.3%	3.8%	3.0%	9.1%	0.8%
性別	男性	61人	90.2%	3.3%	3.3%	3.3%	-
	女性	71人	77.5%	4.2%	2.8%	14.1%	1.4%
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-
	20歳代	16人	68.8%	-	6.3%	25.0%	-
	30歳代	16人	75.0%	12.5%	-	12.5%	-
	40歳代	22人	77.3%	9.1%	4.5%	9.1%	-
	50歳代	19人	89.5%	5.3%	-	5.3%	-
	60歳代	21人	85.7%	-	9.5%	4.8%	-
	70歳以上	38人	92.1%	-	-	5.3%	2.6%
区別	門司区	14人	78.6%	-	7.1%	14.3%	-
	小倉北区	24人	91.7%	-	-	4.2%	4.2%
	小倉南区	27人	74.1%	3.7%	3.7%	18.5%	-
	若松区	14人	85.7%	7.1%	-	7.1%	-
	八幡東区	9人	100.0%	-	-	-	-
	八幡西区	33人	81.8%	9.1%	6.1%	3.0%	-
	戸畑区	11人	81.8%	-	-	18.2%	-

「絶対よくないと思う」が83.3%と一番多く、「悪くはないと思う」は3.0%だった。

〈問10は、問9で「2 やむを得ない場合があると思う」又は「3 悪くはないと思う」と答えた方におたずねします〉

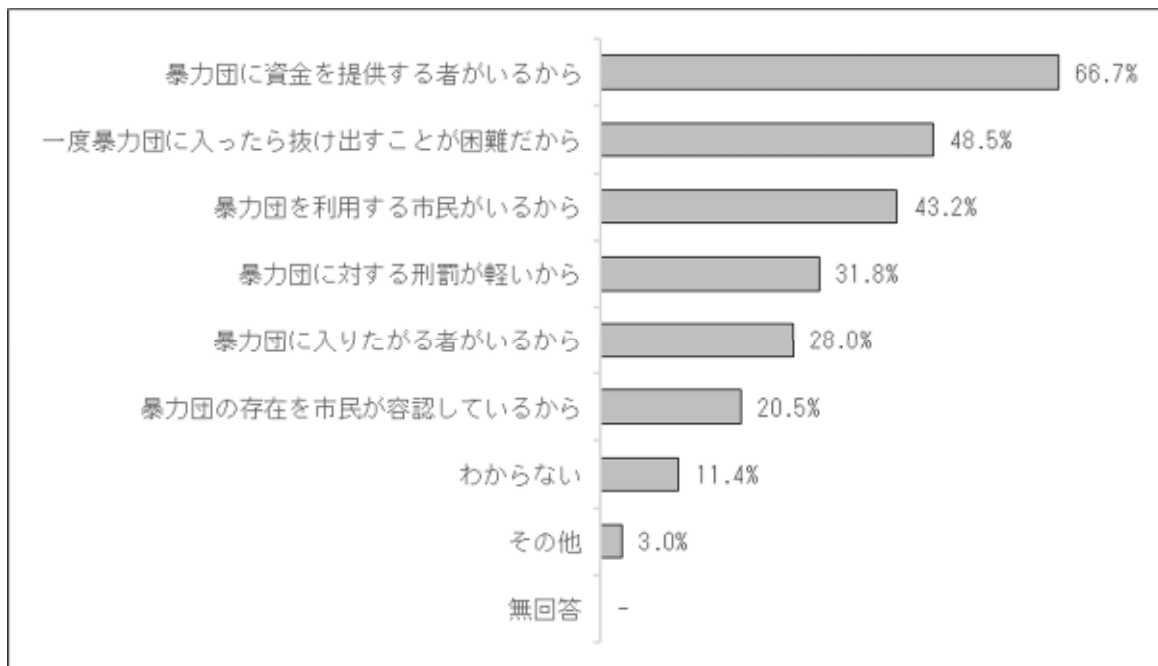
問10 そう思う理由は何ですか。1つだけ選んでください。



		回答者数	弁護士に頼むとお金がかかる	裁判などで処理しようとしても日数がかかる	特に悪いこととは思わない	問題がうまく解決するならかまわない	その他	無回答
全体		9人	33.3%	22.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
性別	男性	4人	50.0%	25.0%	-	-	-	25.0%
	女性	5人	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	1人	-	-	-	-	-	100.0%
	30歳代	2人	50.0%	-	-	-	50.0%	-
	40歳代	3人	33.3%	33.3%	-	33.3%	-	-
	50歳代	1人	100.0%	-	-	-	-	-
	60歳代	2人	-	50.0%	50.0%	-	-	-
	70歳以上	-	-	-	-	-	-	-
区別	門司区	1人	-	-	100.0%	-	-	-
	小倉北区	-	-	-	-	-	-	-
	小倉南区	2人	-	50.0%	-	50.0%	-	-
	若松区	1人	-	-	-	-	100.0%	-
	八幡東区	-	-	-	-	-	-	-
	八幡西区	5人	60.0%	20.0%	-	-	-	20.0%
	戸畑区	-	-	-	-	-	-	-

回答した9人の中で、「弁護士に頼むとお金がかかる」が33.3%、「裁判などで処理しようとしても日数がかかる」が22.2%だった。

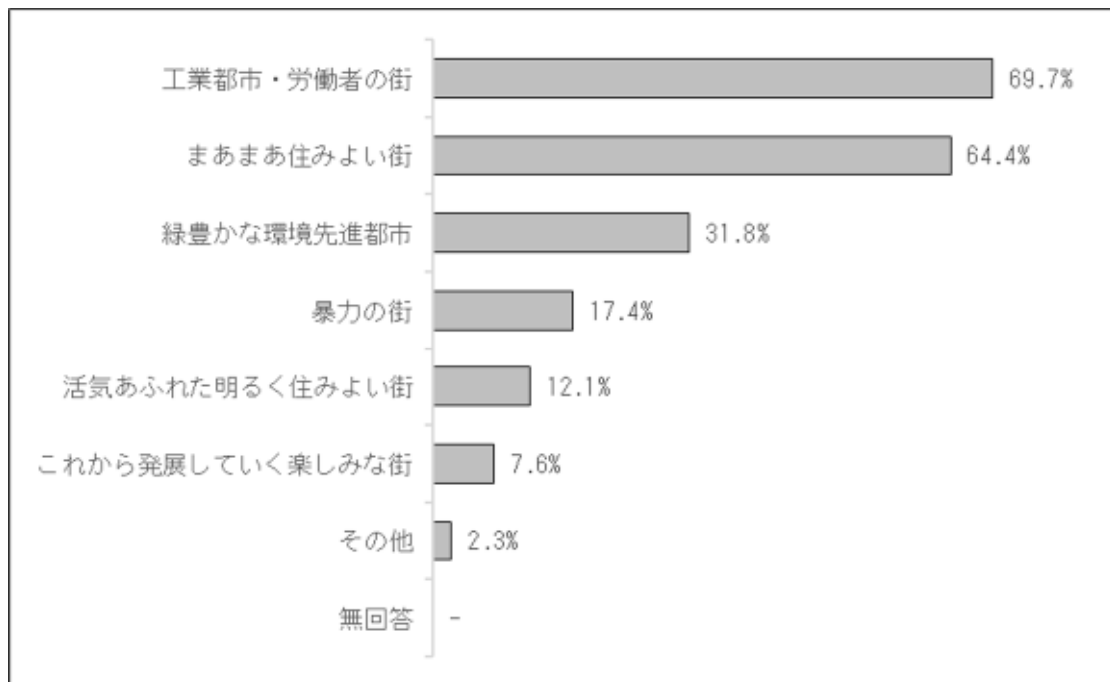
問11 あなたは、暴力団はどうして存在するのだと思いますか。次の中からいくつかでも選んでください。



	回答者数	暴力団に資金を提供する者がいるから	一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから	暴力団を利用する市民がいるから	暴力団に対する刑罰が軽いから	暴力団に入りたがる者がいるから	暴力団の存在を市民が容認しているから	わからない	その他	無回答
全体	132人	66.7%	48.5%	43.2%	31.8%	28.0%	20.5%	11.4%	3.0%	-
性別	男性	61人	67.2%	39.3%	49.2%	37.7%	26.2%	9.8%	3.3%	-
	女性	71人	66.2%	56.3%	38.0%	26.8%	25.4%	12.7%	2.8%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	16人	68.8%	43.8%	43.8%	25.0%	18.8%	12.5%	6.3%	-
	30歳代	16人	50.0%	43.8%	43.8%	31.3%	37.5%	6.3%	18.8%	-
	40歳代	22人	63.6%	59.1%	31.8%	13.6%	31.8%	4.5%	27.3%	-
	50歳代	19人	84.2%	52.6%	52.6%	26.3%	15.8%	36.8%	-	-
	60歳代	21人	66.7%	52.4%	42.9%	38.1%	33.3%	19.0%	-	-
70歳以上	38人	65.8%	42.1%	44.7%	44.7%	28.9%	31.6%	13.2%	10.5%	-
区別	門司区	14人	50.0%	42.9%	35.7%	35.7%	35.7%	7.1%	21.4%	-
	小倉北区	24人	62.5%	50.0%	41.7%	50.0%	37.5%	16.7%	4.2%	4.2%
	小倉南区	27人	70.4%	55.6%	29.6%	22.2%	14.8%	18.5%	18.5%	7.4%
	若松区	14人	57.1%	64.3%	42.9%	28.6%	21.4%	35.7%	7.1%	-
	八幡東区	9人	77.8%	55.6%	44.4%	33.3%	22.2%	55.6%	11.1%	-
	八幡西区	33人	69.7%	42.4%	54.5%	24.2%	30.3%	18.2%	12.1%	3.0%
戸畑区	11人	81.8%	27.3%	54.5%	36.4%	36.4%	9.1%	-	-	

「暴力団に資金を提供する者がいるから」が半数以上の66.7%で、次いで「一度暴力団に入ったら抜け出すことが困難だから」「暴力団を利用する市民がいるから」が40%以上と多かった。

問12 あなたは、北九州市に対してどんな都市イメージをもっていますか。次の中からいくつでも選んでください。

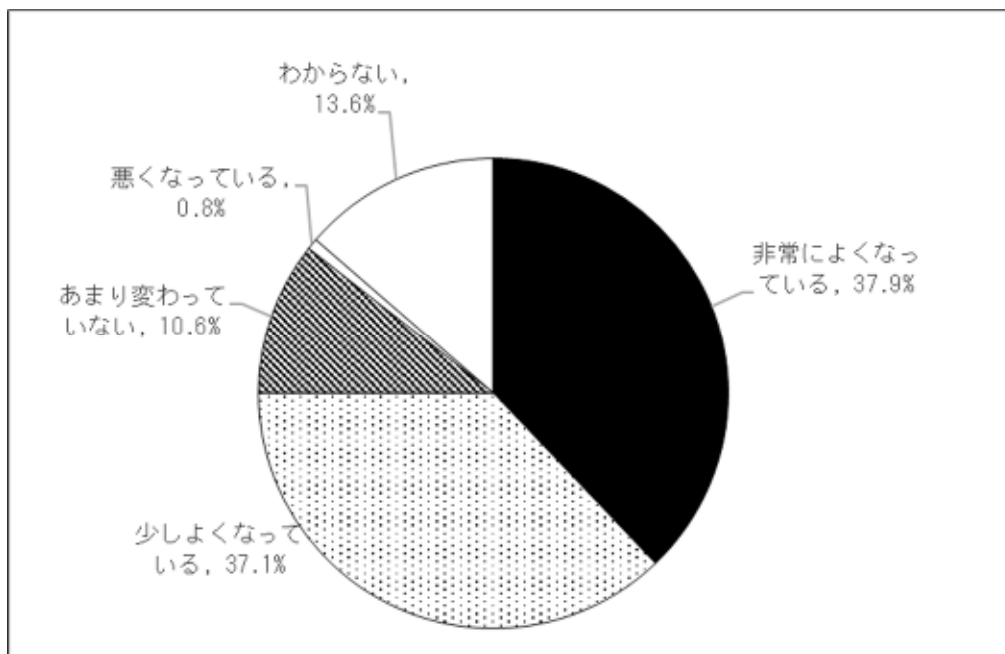


	回答者数	工業都市・労働者の街	まあまあ住みよい街	緑豊かな環境先進都市	暴力の街	活気あふれた明るく住みよい街	これから発展していく楽しみな街	その他	無回答	
全体	132人	69.7%	64.4%	31.8%	17.4%	12.1%	7.6%	2.3%	-	
性別	男性	61人	73.8%	59.0%	36.1%	21.3%	13.1%	13.1%	1.6%	-
	女性	71人	66.2%	69.0%	28.2%	14.1%	11.3%	2.8%	2.8%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	16人	75.0%	62.5%	25.0%	25.0%	6.3%	-	-	-
	30歳代	16人	50.0%	56.3%	18.8%	25.0%	31.3%	12.5%	-	-
	40歳代	22人	77.3%	59.1%	31.8%	18.2%	9.1%	4.5%	-	-
	50歳代	19人	63.2%	52.6%	26.3%	26.3%	-	-	-	-
	60歳代	21人	61.9%	71.4%	33.3%	9.5%	14.3%	14.3%	-	-
	70歳以上	38人	78.9%	73.7%	42.1%	10.5%	13.2%	10.5%	-	-
区別	門司区	14人	57.1%	64.3%	50.0%	14.3%	14.3%	7.1%	7.1%	-
	小倉北区	24人	79.2%	75.0%	33.3%	12.5%	8.3%	12.5%	4.2%	-
	小倉南区	27人	59.3%	59.3%	29.6%	11.1%	3.7%	7.4%	3.7%	-
	若松区	14人	64.3%	71.4%	42.9%	14.3%	28.6%	7.1%	-	-
	八幡東区	9人	88.9%	66.7%	33.3%	11.1%	33.3%	-	-	-
	八幡西区	33人	75.8%	57.6%	21.2%	21.2%	9.1%	3.0%	-	-
	戸畑区	11人	63.6%	63.6%	27.3%	45.5%	9.1%	18.2%	-	-

「工業都市・労働者の街」69.7%が1位、前回調査時に71.4%で1位の「まあまあ住みよい街」が64.4%と減少し2位となった。また、「暴力の街」は前回調査時とほぼ同率で4位であった。



問 1 3 北九州市では、警察その他の関係機関・団体と連携し、暴力追放運動に積極的に取り組んでいます。以前と比べて変わったと思いますか。



	回答者数	非常によくなっている	少しよくなっている	あまり変わっていない	悪くなっている	わからない	無回答	
全体	132人	37.9%	37.1%	10.6%	0.8%	13.6%	-	
性別	男性	61人	44.3%	34.4%	9.8%	1.6%	9.8%	-
	女性	71人	32.4%	39.4%	11.3%	-	16.9%	-
年齢別	10歳代	-	-	-	-	-	-	
	20歳代	16人	18.8%	31.3%	31.3%	6.3%	12.5%	-
	30歳代	16人	25.0%	31.3%	-	-	43.8%	-
	40歳代	22人	27.3%	36.4%	22.7%	-	13.6%	-
	50歳代	19人	42.1%	42.1%	-	-	15.8%	-
	60歳代	21人	52.4%	38.1%	9.5%	-	-	-
	70歳以上	38人	47.4%	39.5%	5.3%	-	7.9%	-
区別	門司区	14人	42.9%	28.6%	14.3%	-	14.3%	-
	小倉北区	24人	41.7%	37.5%	12.5%	-	8.3%	-
	小倉南区	27人	33.3%	40.7%	11.1%	-	14.8%	-
	若松区	14人	14.3%	50.0%	21.4%	-	14.3%	-
	八幡東区	9人	33.3%	44.4%	11.1%	-	11.1%	-
	八幡西区	33人	48.5%	33.3%	3.0%	3.0%	12.1%	-
	戸畑区	11人	36.4%	27.3%	9.1%	-	27.3%	-

「よくなっている」の合計が75.0%で、全体の7割以上を占めており、「悪くなっている」は0.8%だった。

問 1 4 暴力追放について、その他ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

5 6 件の記入がありました。

【北九州市の現状について】

○市、警察は良くやっていると思います。感謝しています。若いころ仕事中に理不尽な因縁をつけられました。断固拒否し難を逃れましたが震えが止まらなく帰るときに待ち伏せをしているのではと怖かったです。北九州市も暴力団のトップの裁判中です。良い方向に行っていると期待しています。

○良くわかりません。身近に経験することがないので、でもテレビ報道等で暴力団追放の話の聞いたり見たりしたとき、いい方向に行っているのではと応援する気持ちです。

○暴力の団体と自他ともに認めている、この時点で壊滅するべきだと思います。又、市民が本当に恐怖を感じ迷惑しているのはいわゆる小さな暴力です。暴力的行動、言動、暴走行為、迷惑運転、色々マナー違反等々警察関係の方も大きな事件ばかり目を向けずこのような案件をしっかりと取締ってほしいものです。

○元暴力団の方が更正後働く場所がなく、周囲からの偏見の目で見ると人々によって暴力過ちを繰り返すと思います。暴力団よりも一般人の方が偏見や差別により相手を傷つける怖い存在です。

○同僚は子どもが小さいとき、山田緑地には怖くて行けなかったと言っていました。今でも、あの前を通ると威圧的に感じます。市民が安心して憩える場所になって欲しいです。

○追放するとしても動かないだろうし、一般市民には優しく近所付き合いも良いと聞いたので、わざわざ追放することもないかと思う。

○息の長い暴力追放運動が必須であり、今後も市のリードで頑張ってもらいたい。期待しています。

○暴力団らしき事務所、会社があり北九州には恐れを感じていましたが、大きな組織事務所を撤退させて更地にできた事案はとて市民にとっては安心材料となったし役所警察協力での尽力を一市民として感謝しました。これからも手を緩めずに取り組んで頂きたいと思います。期待します。

○自分は暴力の街とは思っていないのですが、TV、新聞、町の中の警官の数などみると、TV や新聞のイメージ通りなのかと思うので自分の中と他の都市や他の都市の人との間にギャップがある。昔、一度友人のご主人が来た時、事件報道がよくあっ

ていたので別れる時、早く帰さないといけないと思い新幹線に乗せたのですが、本人は新幹線に乗ったふりして降りてまちに出ていたので、友人にTELし帰宅するまで何事もなければいいかと心配した。こういうところが北九州はまだ危ないのかと思った。

○市民の弱い力では目的の達成は困難です。よって行政が市民の安全を守るという立場であらゆる機会を活用して市民の暮らしを守ってください。安全で住み良い北九州のために。

○暴力団お断りのステッカー一程、効果が期待できないものはないと思います。ステッカーが貼られているのを見て、暴力団いるのか、治安が悪そうだなと土地柄を感じます。

○今は心配なく住めていて、色々と警察や市の方が頑張ってくれているのかなと思う。

○暴力追放に関しては、素晴らしいことだと思うが、暴力団を追放した結果、半グレや外国のマフィア等が台頭してきているとのこと。暴力団を追放したからよいではなく、変わりゆく情勢の中で臨機応変に対応すべきだと思う。

○暴力団を脱退した者を社会に迎えていく市民運動をいっそう盛り上げていく必要がある

○県外の方々は、北九州市は怖い街と必ず口にします。そういったイメージを少しでも早く払拭できたらいいと願います。工藤会の裁判が早く結審し、安全な街をアピールして欲しいです。

○昔は暴力団がいるのはある程度仕方がないことなのかと諦めに近い感じがあったと思いますが、警察や市が積極的に動いて立ち上がって、壊滅に動いたことは素晴らしいことだと思います。先日の裁判でも裁判長に身に何も起こらないことを切に願っています。

○私一個人が接する人間関係や情報から感じるのですが、まだまだ北九州市民や街に対する暴力性について、大変悪いと認識している方が多いと思います。またそのことを市民が知らないから、余計に誤解を生んでしまうこともあるのかなと思うことがあります。そういうことも市民の方に触れてもらえるきっかけがあればいいかなと考えることがあります。

○市長や警察関係者・市民が一体となって、やっとここまで辿り着けた事に感謝します。次は中国やベトナムのマフィア対策ですね！

○暴力は卑劣なこと、恐ろしいことだということは間違いがないことですが、それをなくそうとしている方々に尊敬の念を持っています。本当にご苦労様ですと伝えたいです。でも、できるだけ関わりたくないというのが本音です。

○意見ではありませんが、以前の経験で警察官がなんとなく暴力団よりの態度で接

していると感じさせることがありました。それが不安で暴力団の告発を警察にしなかったことがあります。今は、そのようなことが100%ないと言える状況でしょうか？それが知りたいですね。

○暴力団員でもお祭りやイベントのボランティアをしてもらって市民として認めていく方法があると良い。何か資格を与える。やはり仕事を得不いと生活出来ないの一番困ることを暴力団員にアンケートで尋ねるのはどうですかね？

○暴力追放努力すれば非常に良くなると思うが100%なくなるとは思われない。根気よく継続することが肝要かと思う。

○常に取り締まりを強化すべき。

○北九州=暴力団のイメージがなかなか払拭されないことがもどかしい。報復を考えると市民が直接その対処に関わるのは難しい面があるため、北九州市と警察等が強く連携して尽力お願いしたいと思う。方法は大いに市民に募ってよいと思う。

○怖いイメージが強くある為、関わりたくない。近所で定職を持たず高級車など乗られている方など見ると、偏見にて未だに暴力団と誤ってしまうと声を聞くこともある。

○40年くらい前に、務めていた職場に暴力団と思われる人が来て、困ったことがありました。証拠になる文書もあったので、近くの交番に届けて相談しました。その後、どうなったか尋ねに行ったら文書は捨てたと警察官に言われました。びっくりしました。誰かが殴られたり怪我をしなければ警察は動けないからと言われました。工藤会解散に向けて動きがあり、いいことだと思いますが、これは、殺されたり、大怪我させられたから警察は動けたということでしょうか？直接、私が被害を受けたことはないですが、相談場所については警察では窓口になるのかどうか疑問に思うところです。

○小学生の頃、学校にドスを持って見せびらかしている同級生が居た。昔は、暴力団事務所も多くあって、その子供達も学校に通っていたので、危機感が薄れていたのかもしれない。大人になりニュースで事件を目の辺りにすると絶対に許されないと思う。組抜け出来ない、ニュースで言っていたので、公正したい人は助けてあげて欲しいです。

○一朝一夕には解決できない、厄介な問題だと思っていますが、現在の北九州市・県警の取り組みは市民に勇気を与えています。まだ完璧なところまでは、到達していないのでこれからも粘り強く取り組み続けることが必要です。まずは、公共事業から「必要悪」をなくすことが望まれます。

○身近なことでも警察に相談すること。

○北九州市が暴力団と関りがあるというイメージを少しでも払拭できれば良いと思います。

○関係機関との連携を更に深めたらいいと思います。又先般からの小倉の暴力団ビルの完全撤去は本当に良かったと思います。

○工藤会については、対応が旨いき活動をかなり押さえることができているのだろうと思う。しかし、それ以外にもヤクザを名乗る集団はいるし、土建の下請けには関連団体がいるとも聞く。甘い汁を吸うために暴力を用いることは絶対に許されないという態度で、警察が粘り強く検挙していくしかない。行政も公共事業の入札に入る業者をきちんと精査し、徹底して締め出して欲しい。また、組関係に対応する警察官は、定期的に入れ替え、汚職の発生を防ぐ必要もある。薬物の売買においては、捜査を強化して根絶やしにしなければ、薬物に染まる子ども達が増えていく。

○日本は法治国家なので、わからないとか面倒だとかで、正規の手続きをとらないで事故、トラブルなどの解決を知人の紹介など人に頼むとそういう人々が出てくるので、小さなことでもはじめから、警察に相談するようにしたらよいのでは。

○青少年の健全育成を強化してほしい。

○警察や行政に対する市民の信頼が確立できるかどうかが問題であろう。例えば警察に協力するといっても報復や嫌がらせなどの可能性があるとなると一般市民は積極的になりにくい。警察や行政が確実に保護するようであれば、そしてそのことが市民によって信頼されていなければ、暴力追放にも困難が生じる懸念がある。

○北九州のイメージが暴力団によってよくないです。成人式での着物販売会社に対しても北九州のイメージを損ねる商品を提供しているのでなんとかしてほしい。市をはじめ成人式にも考え直して恥を知ってほしい。

○福岡県警が工藤会に対し脱税の摘発を取ったのは正しかった。多分アメリカのシカゴ、ギャング、アルカポネの例を参考にしたのではと思います。あらゆる手段をとって壊滅に持って行ったのは画期的なことと思います。今後も期待します。

○朝、昼、夜のパトロールを毎日特に小さな団地や部落にもお願いします。

○よく県外の友人からあんな危ない街によく住んどるね！って言われますが私は生まれも育ちも北九なのであまりその危ない実感がありません。北九州は工業の街なので、輩やチンピラ、変な人が多いのは間違いないです。少しずつ北九も良くなるはなってきましたがまだまだ油断せずに追放運動を根気よくすれば50年、100年後には生まれ変わった街になると思います

○公権力は暴力団と裏で繋がっているのしょうから信用していません。本当に暴追したいのなら、困窮者の問題にもっともっとアウトリーチしていくべきだと思います。色々と柵の中で雁字搦めになっているとも思いますがね……

○時代の変換と共に変わるべきで、今までは暴力だったら、その力を使って困った人を助けるなどにシフトしても良いと思います。力あるなら出来るはず。

○数年前に転居してきたため、過去の事件については知りませんでした、工藤会

に関するニュースを見るにつけ、官民一体となって、暴力追放に取り組んでいると感じます。

○今までの、市、警察、市民の努力があって、いまの現状がある。本当に頭が下がる思いです。

○暴力追放は私も含めて大変勇気の必要な活動で、且つ将来の北九州市に必要な活動だと思います。参加する人が多くなれば、その分暴力団も減ると思いますので私の様な者でも参加しやすい様なシステムが出来れば良いと思います。

○頑張ってください。

○東京方面からリターンしてきました。北九州に引っ越すと友達に伝えたとき、あまり良いイメージがなかったようで、街を歩いていると弾丸が飛んで来るようなところに行ってしまうと心配されました。また、北九州に観光がてら来たいけれど、刺されたり撃たれたりされないか心配で来れないという人もいました。これは、滅多に遊びには来れない、会えないことの言い訳だったのかもしれませんが、悪いイメージがあるんだなと残念に思いました。そんな中、先日、工藤会の敗北のニュースをテレビで見てほっとし、警察と意識が高い住民の皆さんのおかげだなと思いました。こういうニュースが全国ネットで流れると、友達のイメージも変わって北九州に遊びに来れるようになるかなあとと思います。

○暴力は、絶対許されるものではない。暴力追放には、大賛成です。

○30年前近くに事務所があり夜中パトカーが張り込みをしてました。組員さんがうろろして怖かったです。今は事務所も組員さんもいないので安心です。どこに行ったのでしょうか？

○暴力団の犯行については刑事罰を重くする法律を作る。暴力団を抜けた者に新しい職場、生きる場所を与えるシステムの構築。

○警察・官庁は、厳格に対応すべきである

○暴力団から武力や嫌がらせを受けた経験がないのでどのような対応をするか自分自身深く考えたことがありません。おそらく強く反抗せず安易な方法（金を支払う等）で対応すると思います。つまらぬ事でもめて身の危険を感じるのは愚かなことだと思うからです。多くの市民も同じ考えではないでしょうか。警察の組織を超拡大して暴力団の組織を壊滅する方法しかない様に思います。

○夜の街や建設業ではまだ暴力団の影響を受けているのかなと思う(想像)。直接、被害にあった事が無いので追放運動に参加しようとは今の所思わない。比較的近所に組事務所や邸宅があったので特別怖い存在と思ってなかった。残念ながらロケットランチャー事件も笑い話の様に話す人がいたので一部の市民の危機感は低い。壊滅運動は確実に成果が出ていると感じる。

○先述したが、怒って他者にクレームをいう人、小競り合いしている人をたびたび

見かける。勝手な印象だが、「隠れ暴力団」みたいな人が意外といるのではないかと感じる。なので、相変わらず怖い町の印象がぬぐえない。

○工藤会撲滅に向けて福岡県警や関係者の尽力は高く評価します。しかし他の勢力が入って来ないか心配です。前の質問にもありました通り、麻薬を購入するものや、暴力団を利用するものがある限り、真の脱反社にはならないと思います、暴力団等の反社会勢力だけではなく、関係するもの全て厳重な取り締まり、処罰を望みます、また、伴った法改正もお願いしたいものです。

○祭りなど市民が楽しみにして集まる行事に参加させてはいけない。

○警察、検察はじめ官民一体となった取り組みを根絶近くまで継続、強化して欲しい。

#### IV 全体考察

民事暴力相談センターは、昭和62年10月に暴力団等からの被害を受けた市民や企業が気楽に相談できる行政の窓口として、全国に先駆けて開設した。さらに平成25年4月1日、組織改変により交通事故相談、民事介入暴力相談、犯罪被害者相談、生活環境パトロールを統合して、安全・安心相談センターが発足した。

また、福岡県では平成22年4月に全国初となる罰則規定を盛り込んだ「福岡県暴力団排除条例」を施行し、平成25年6月1日には、暴力団排除に立ち上がり、また立ち上がろうとする事業者を保護するため、特定の事業者に対する暴力団の不当な影響を排除するための措置が追加規定された「改正福岡県暴力団排除条例」が施行され、本市でも平成22年7月に市民が安心して暮らせる社会の確保、社会経済活動の健全な発展に寄与すること等を目的に「北九州市暴力団排除条例」を施行したところである。

このアンケートは、本市が県警察、市民と緊密に連携して推進している暴力団対策の市民認知状況及び民事介入暴力や被害相談の状況を調査し、今後の取り組みに生かすため実施した。

##### 【市の相談窓口の認知度について】

- 市の相談窓口の認知度は、47.7%と前回調査の令和元年度38.3%から増加した。暴力追放に向けた取組については、「テレビや市政だよりによる広報啓発」、「ポスターやリーフレットによる啓発」、「暴力追放大会や講演会の開催」が前回調査同様に上位を占めた。

##### 【不当な要求を受けた場合について】

- 暴力団から不当な要求を受けた場合の対応では、「他に相談する」が70.5%と圧倒的に多く、次いで「要求を拒否する」が18.9%であった。また、相談相手は「警察」90.3%、「市の相談窓口」45.2%が前回調査同様に高くなっており、身の回りの人より、行政機関を優先する意見が多かった。

##### 【暴力追放の住民運動について】

- 暴力団追放の住民運動への参加意識では、「ぜひ参加してみたい」「どちらかといえば参加したい」の合計が29.5%で、前回調査時の21.1%から全体の3割近くに増加した。「あまり参加したくない」「参加したくない」の合計は70.4%だった。参加したくない理由は「今までこのような行事に参加したことがないから」が48.4%と一番多かった。また、「できるだけ暴力団に関わりたくないから」が44.1%、「暴力団からの報復



等がこわいから」が 33.3%と、暴力団の存在を恐れる意見は前回の調査時とほぼ同率であった。

【暴力団を利用してのもめごと処理について】

- もめごとの処理に暴力団を利用することの可否については、「絶対によくないと思う」が半数以上の 83.3%で、「悪くないと思う」 3.0%だった。

【暴力団の存在について】

- 暴力団の存在については、「暴力団に資金を提供する者がいるから」が 66.7%、「抜け出すことが困難だから」が 48.5%、次いで「利用する市民がいるから」が 43.2%と上位を占めた。

【北九州のイメージについて】

- 都市のイメージの項目は、「工業都市・労働者の街」69.7%が 1 位、前回調査時に 71.4%で 1 位の「まあまあ住みよい街」が 64.4%と減少し 2 位となった。また、「暴力の街」は前回調査時とほぼ同率で 4 位であり引き続きイメージの改善が期待される結果となった。

【暴力追放運動の取組について】

- 暴力追放運動の取組については、以前と比べて「非常によくなっている」が 37.9%と増加傾向にあり、「少しよくなっている」が 37.1%であり、よくなっているとの意見が全体の 75.0%で、本市の暴力追放運動は一定の成果を上げていることがうかがえる。

【市政モニターに関すること】

市民文化スポーツ局 広聴課 (TEL : 582-2527)

【アンケートに関すること】

市民文化スポーツ局 安全・安心推進課 (TEL : 582-2427)